

## 令和6年度12月定例教育委員会議事録

### 【日時】

令和6年12月20日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後3時15分

### 【会場】

辰野町民会館 104 学習室

### 【出席者】

9名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	小澤 靖一
学校支援課長補佐	宮原 隆史
学校教育係長	翠川 俊一

### 【傍聴者】

0名

## 【次第】

### 1 議事

- (1) 【非公開】 就学の判断について
- (2) 【非公開】 準要保護の認定について
- (3) 【非公開】 区域外就学について
- (4) 辰野町指定文化財答申について

### 2 協議

- (1) 【非公開】 学校の様子・運営上の諸課題について
- (2) 町教育委員会研修視察について 【2月7日(金)】
- (3) 全国学力学習状況調査結果質問紙からみえる児童生徒の姿について
- (4) 「新しい学びの当たり前」について
- (5) 教育委員会・社会教育委員との懇談会 【本日 15：30～】
- (6) その他

### 3 報告事項

- (1) 町議会一般質問報告
- (2) 辰野町指定文化財答申について

## ○開会

### 1 開会宣言

### 2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

### 3 議事録の承認

- ・承認。

### 4 宮澤教育長挨拶

12月20日、新聞広告などを見ますとクリスマスやお年とりなどの言葉が躍っておりますが、私は実感が湧きません。年を重ねると物事への感動が少なくなるのかもしれませんが、しかし、町内の小中学校では来週から年末年始休業に入ります。夏の猛暑から続いた5ヵ月にも及ぶ2学期が終わろうとしています。先週の金曜日、13日には町の校長会がございました。その中で2学期の教育課程の反省、そして年度の報告について協議しました。各学校の計画された教育課程は確実に執行され、学年・学校行事の事故がなく多くの成果をあげることができたこと、子どもの意見を取り入れた活動を行ったことなどの報告がありました。また、次年度に向けた教育課程では、1日5時間の授業を4月や夏休み明けを中心に導入していきたい、夏休みは今年度より数日減らしたいというご意見がありました。各行事には子どもの意見を積極的に取り入れ、子ども主体としたものに変えていきたいという意見が出され、私が考えていたことの一端を校長先生方が既に受け入れていただいているのが分かりました。年末年始休業が明けますと、いよいよ川島小学校閉校まで3ヵ月、忙しい3学期になりそうですね。教育委員のみなさまのお力を貸していただければと思います。

さて、今日の定例教育委員会は議事として4点、就学の判断、準要保護の認定、区域外就学、町指定文化財の答申、協議としては、学校の様子・運営上の諸課題、全国学力状況調査結果質問紙からみえる児童生徒の姿、教育委員会研修視察、社会教育委員との懇談会になります。今日は3時30分から社会教育委員との懇談会になりますので、3時15分には終了とさせていただきます。その後の会もありますので長丁場になりますが、みなさんのご協力をお願いします。

## 5 議事

- (1) 【非公開】 準要保護の認定について
  - ・ 翠川学校教育係長より説明。承認。
- (2) 【非公開】 区域外就学について
  - ・ 翠川学校教育係長より説明。承認。
- (3) 【非公開】 就学の判断について
  - ・ 宮原学校支援課長補佐より説明。承認。
- (4) 辰野町指定文化財答申について
  - ・ 福島学びの支援課長より説明。承認。
  - ・ 七蔵寺の百体観音を文化財審議会に諮問して検討していただいた結果、史跡として指定された。弘法大使像と百体観音が並んでいるのは町内で七蔵寺のみであることと信仰の背景がうかがえることから、石像物一体ずつではなく、百体まとめて「信仰史跡」とする。

## 6 協議

- (1) 【非公開】 学校の様子・運営上の諸課題について
  - ・ 宮澤教育長より説明。
  - ・ 資料として『学校の様子及び運営上の諸課題』を提示。
- (2) 町教育委員会研修視察について【2月7日(金)】
  - ・ 宮澤教育長より説明。
  - ・ 資料として『長野県辰野町教育委員会視察訪問スケジュール案』を提示。
  - ・ 静岡県川根本町教育総務課より受け入れの承諾をいただき、当日のスケジュールを確認。
  - ・ 義務教育学校設立までの流れについての他、中学校部活動の地域移行へのプレゼンテーションも希望している。
  - ・ 宿泊先は「ルートイン島田」を予定している。
- (3) 全国学力学習状況調査結果質問紙からみえる児童生徒の姿について
  - ・ 宮澤教育長より説明。
  - ・ 資料として『「児童生徒の学習状況・生活実態」からみえる辰野町の児童生徒』『Q-U 検査からみえる町内小中学生の状況』を提示。

- ・規則正しい生活については良い結果であるが、若干朝食を食べない子どもがいる。
- ・ここ2年高かった自己肯定感は、今回の結果ではあまり高くない。小学生は全国平均並み、中学生は前回の調査結果と比べて約10ポイント低下している。
- ・いじめはいけないという認識は小学生より中学生が高くもっている。
- ・地域や社会との関わりについては毎年低い結果となっている。大人がお膳立てし過ぎているところがあるのかもしれない。
- ・中学生の教科学習の重要性については、国語を重要視している一方、数学への意識が低い。数学の点数が低いことが影響しているのかもしれない。
- ・昨年より「幸せな気持ちになる」という設問が追加されている。この設問について多くの子どもたちが肯定しているが、一方では否定的な回答をしている子どもが1割程度いることを頭に入れておかなければいけない。
- ・多くの子どもたちが部活に意欲的に取り組んでいる。
- ・「クラスに行きたくないことがある」「休み時間に一人ぼっちでいることがある」という設問に小学6年生の1割程度の子どもたちが「そう思うことがある」と回答しているため、日頃から気をつけて見ていく必要がある。
- ・中学3年生においては、クラスの中の居心地がよいという回答が9割を越えており、良好な人間関係が築かれていることが分かる。しかし、そう思っていない子どもたちがいる実態を受け止め、気持ちに寄り添っていかなければいけない。
- ・辰野町の不登校の状況として小学校は増加なし、中学校においては若干増加傾向がある。
- ・総合的な結果から辰野町内の小中学生は健全な生活を送っているのではないかと考えられる。

#### < A 委員 >

調査の質問に正直に答えてくれていると良いですね。自分が中学生だった頃に比べて、今の中学生はみんな仲良しという雰囲気が大きいように思います。建前を意識していて、考え方が大人だと感じています。

#### < 宮澤教育長 >

昔に比べると子どもたちがお互いに気を遣っているのかもしれませんがね。不登校については数字だけに振り回されるのではなく、実状に目を向けて考える必要があると思います。

(4) 「新しい学びの当たり前」について

<宮澤教育長>

県に今回手を上げようと思いましたが、校長会まで日が無く見送りました。

<B委員>

各学校に一人ずつ指導者が入ってくれるといいですが、一人で町内の小中学校を回るとなると思っているようにはいかないかもしれません。

<宮澤教育長>

すでに子ども達の意見を取り入れている動きがあり、辰野町ではまず東小と辰野中でやってみようと考えています。

(5) 教育委員会・社会教育委員との懇談会【本日 15:30～】

(6) その他

7 報告事項

(1) 町議会一般質問報告

- ・小澤学校支援課長より説明。
- ・学校給食費無償化の要望があるが、辰野町では財源がないため現実的ではない。今後の方向としては、保護者の負担を増やさず公費を投入して現状の質や量を維持していく。
- ・自校給食調理施設を維持していくための費用とアレルギー食に対応の調理員を増員するための人件費に予算を充てる。

8 閉会